

BFSニュースレター

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

2010年1月1日発行

Vol. 8, 第8号

このニュースレターの主な掲載情報:

- グローバルな政治・経済、マーケットの最新情報や分析見通し
- BFSのサービス、実際のトピックス、ケーススタディ
- 資産運用や人生設計に役立つ情報
- 知っておくと得するホットな情報

資産全体の収益率をつかむことが大事です。

毎月分配金が出てうれしいとか、株を売って少し儲かったという会話はよく聞きます。また、持っている投信が下がってどうしようと心配している光景もよく見ます。

一方で、皆さんが資産運用をしていて、いったい資産全体でいくらの利回りになっているのか、つかんでいる人がいるのでしょうか？

冒頭のようなケースと同じように、人間は感覚的に記憶していて、実は2007年8月に日経平均が18000円を越えていたなどということとは、とうに記憶の外なのです。

これと同じように、分配金が出てなんとなくうれしいとか、かなり損していて本当に困ったといっても、実際にいくらの利回りになっているかつかんでいる人はいません。

分配金を元本から削って出すこともあります。この場合は蛸足です。また今は下がっていても、配当金も入れれば損していないこともあります。こういうときのその人の反応は、「へーっ、そうだったのー。配当金など小遣い程度とっていたけど、貯まるとずいぶん額になるんだねー」といったところですよ。

人間の記憶や感覚ほどあてにならないものはありません。

投資信託運用会社のトップに聞いたことがあります、「投資家に利

回りがわからないほうが、運用会社にとっては悪いときに都合がいい」というのです。

これで重なるイメージが、スピードメーターなしで高速道路を走っている姿です。

いったい、いくらで回っているかがわからなければ、資産運用の目標やプランに照らしたチェックをできるわけがありません。チェックができないような商品を持っていたり、運用の仕方をしていて自分が、資産運用を失敗の道に導くものなのです。



こういうサービスを、証券会社や銀行に期待することはまず無理です。なぜなら、彼らはいろいろな商品売ることによって収益を上げていますから、なまじそういうことをするのは、自分たちの墓穴を掘るようなものなのです。

BFSでは、資産全体の収益率を、配当金や売却分も含めて、算出しています。それが毎年毎年時系列でわかれば、長い航路の海図と行程表を持ったようなものです。

日本が抱える時限爆弾-インフレと超円安

チクタク、チクタクと、爆弾は確実に時を刻んでいるようです。その爆弾とは、なんでしょう？

それは、膨れ上がる財政赤字を埋め合わせている825兆円の国と地方の長期債務です。これからもこの額は確実に増えていきます。

一方個人の金融資産は1500兆円といいますが、負債を除いた純資産は1065兆円です。個人の貯蓄が、銀行を通じて国債購入にしているのですが、2010年代中には、個人資産全部を充てても国と地方の公債を買いきれなくなります。

これが私たちにどう影響してくるのでしょうか？その例として参考になるのが、1970年代のイギリスです。

経済競争力が低下していたイギリスは、財政・構造改革に失敗し、政策危機が進行。70年代を通して10%超のインフレに苦しみ、76年にはポンドが暴落、IMFの緊急融資を受ける事態に陥りました。いわゆる「英国病」です。

これと同じ現象が、日本で2010年代に起きないとはいえません。今はデフレですが、国債を消化し切れなければ、金利を上げるしかありません。そしてその中で政府が債務を減らそうとすれば、インフレに頼るしかありません。

この結末は、超インフレと円の暴落。この事態を、常に視野に入れておく必要があります。

戦時中、戦費調達のためお金が世にあふれ、卸売り物価が1944年からの6年間で124倍に高騰した過去の歴史もあります。。

今月の言葉:

知恵は真珠よりも尊く、あなたの望むどんなものもこれとは比べられない。



・BFSのミッションは、お客様とパートナーになり、正しく客観的なプランニングとお客様資産の運用を通じて、お客様を人生のゴール達成に導くことです。

・BFSは、金融機関とは完全に独立して、お客様利益最優先の公正なアドバイスを提供しています。

・BFSは、最新で高度な理論や知識、30年以上のグローバルな豊富な経験、強い倫理観で最高品質のサービスを提供しています。

・資産運用サービスやライフプランニング、BFSについてもっと詳しく知りたい方は、左記までお問合せください。

Web サイトもご覧ください
<http://www.bfsc.jp>

発行者 びとうファイナンシャルサービス株式会社(BFS)

代表取締役 尾藤 峰男

〒164-0003

東京都中野区東中野4-7-18

岡藤ビル303号

電話 : 03-5338-9733

携帯 : 090-4934-3121

FAX: 03-5338-9734

電子メール : info@bfsc.jp

お客様の人生に豊かさを、心に安心とゆとりを—BFSの大切な役割



オマハの聖人—世界最高の投資家ウォーレン・バフェットが語る

マイクロソフトのビル・ゲイツと並ぶ世界の大事だ。内側の得点に満足していれば幸せな人生を送れる。外側の得点ばかり気にしている人は、いささかむなしい人生ということになる。

レン・バフェットは、現在も現役で、かくしゃくとしたものです。破産しかけたパークシャー・ハサウェイを50年ほどの間に、時価総額15兆円の会社に育て上げた経営者です。

その人物が母校の後輩に語る言葉は、後世に伝えたいことが心底から出てくるようです。

その一部を紹介しましょう

・組織的にどう倫理指導を行っていますか？
 -わが社には資金があり、多少の損失を出す余裕はあるが、評判を落とす余裕はない。新聞に出て、家族や友達、近所の人と呼ばんでいやな気持ちにならないか、新聞テストをやっている。

・100ドルを落としたら、拾いに戻りますか？
 -もしビル・ゲイツが10セント落としていったら、私が拾う。-バフェットの車のナンバーは「THRIFT-儉約」自宅は1957年に31500ドルで購入した家のまま。

・過去にもらった最高のアドバイスは？
 -父からもらった言葉：自分の「外側の得点表」より「内側の得点表」のほうがはるかに

・誰にアドバイスを求めますか？
 -鏡を見ましょう。誰も責任を取らない大人数から生まれた判断は、すぐれたものにならない。

・最悪の投資はなんでしたか？
 -ひどい投資は何度かしたが、私は別に困ったりはしない。人間はいろいろなミスを犯す。いつまでもよくよしない。明日という日がある。前向きに生きて、次のことをはじめたほうがいい。

・今までの人生でビジネス以外の最大の成功を教えてください。

-私と同じくらいの年で、多くの人に愛されている人に尋ねると、全員が例外なく成功だったという。ごく普通の仕事をしていたり、境遇が恵まれていなかったりしても、周りから愛されている人は、大きな成功を感じているものだ。